

人論  
壇

### コロナで本格的に加速

デジタル・トランスフォーメーション（DX）という言葉を知っているだろうか。最近、ビジネス書などによく出てくる言葉だが、デジタル技術によって企業や社会の仕組みを変えていく（トランスフォーメーション）というようなことを意味する。

人工知能（AI）、IOT（モノのインターネット）、5G、クラウド、ゲノム解析など、さまざまな分野で技術革新が起きているが、これらは全て情報をデジタル化することによって可能になる。すなわちデジタル技術の活用だ。

伊藤 元重

学習院大教授（国際経済学）

このような技術が進むことで、社会のあらゆる分野で変化が起きるはずである。そうした変化に期待する人が多かったが、現実の変化は遅いものであった。どうしたらもっと変化のスピードを速くできるのか。多くの企業ではそうした思いで変革

4Gとは比較にならないレベルだ。それに応じて、企業や社会や人のスピーディーな行動の変化は非常に遅い。だから技術の変化と社会

4G（ズーム）のようなテレビ会議の仕組みが普及してきた。今や毎日の生活は2.0mなしには成り立たないと私の学生たちも言っている。こうした動きは、間違なく教育の姿を変える原動力となる。

入試の仕組みから留学の在り方まで、教材のスタイルから学生間の交流の在り方まで、全てが大きく変わるはずだ。

この変化に対応できるよう能力を身に付けてもらいたいのだ。変化が激しい時代だからこそ、教育の重要性は増している。

ヨンの考え方だ。

新型コロナウイルスによって、スピーディーな変化を始めた。教育現場では遠隔授業のためにZo

### デジタル技術による社会変革

に取り組んでいる人も多かつた。

政府でもそれは同じだ。

デジタル・トランスフォーメー

ションの考え方方が注目したのは、

技術の変化のスピードだ。デジタ

ル技術の変化は、倍々ゲームのよ

うなスピードで進んでいく。今、

私たちが使っているスマートホー

ンの少し前には大型コンピュータ

の変化のスピードに大きなギャップが生まれ、それがさまざま摩擦を起こすことになる。ただ、ものは考えようだ。技術の変化のスピードをドライビングフォース

（機動力）として活用して、社会の変化のスピードを加速化することができるはずだ。これが

オ nline 会議の仕組みは、企業の現場でも利用が広がっている。今や家からパソコンでつなぐ

### 対応力付ける教育重要

ことなしに仕事をすることは不可能という人が増えしており、仕事の時間の使い方から会議のやり方まで働き方や企業の姿が大きく変わっている。こうした変化は好ましいものだけではないかもしれない。しかし、好むと好まざると私たちはそれを受け入れざるを得ない。これまでだって私たちの社会は技術によって変化してきたのだが、それが今は猛烈な勢いで加速化している。私たちの年齢になると、社会があまり目まぐるしく変わることを不快に思う人も多い。それは仕方のないことだが、せめて若い人たちにはこうした変化に対応できるよ